

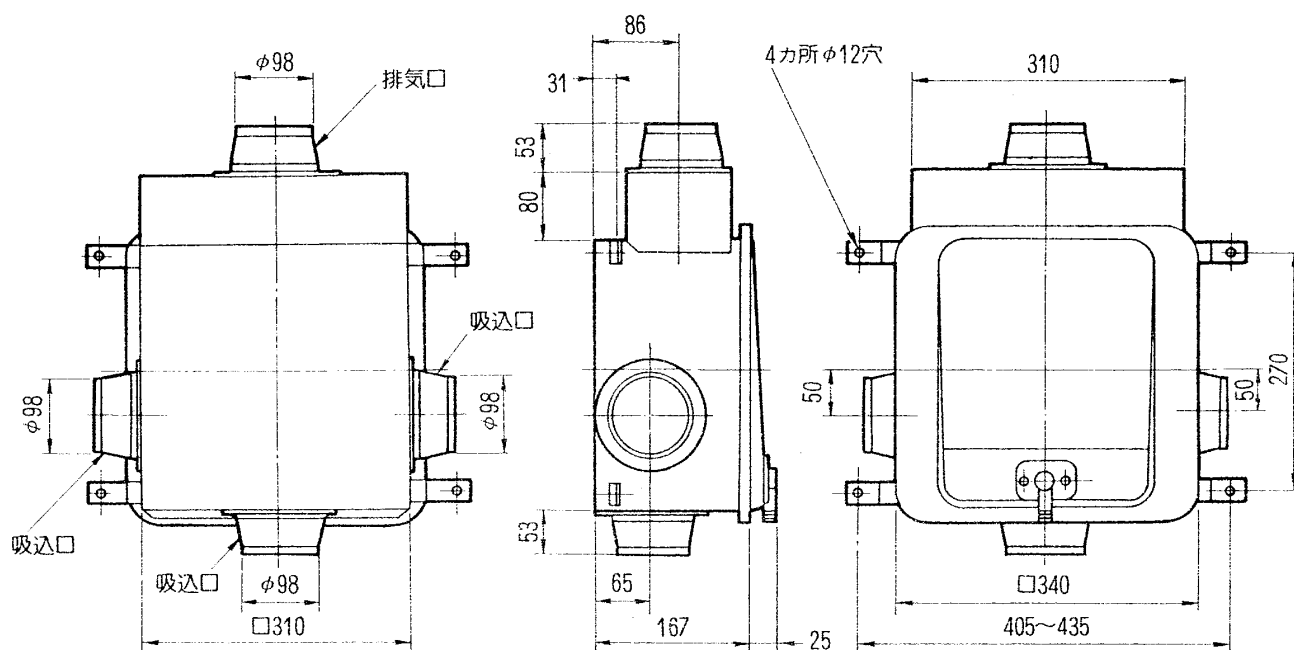
TOSHIBA

東芝換気扇取付説明書 (ダクト用)

形名 **DVC-18T, 20T**

- この換気扇の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくためにこの取付説明書をよくお読みください。
- この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。

製品寸法



付属品の確認をしてください

吸込口 3コ



タッピンねじ 12本
(吸込口固定用)



$\phi 4 \times 6 \text{ mm}$

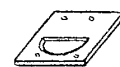
ゴムクッション 8コ
(本体固定用)



平座金 8コ
(本体固定用)



風量調整板 1枚



(DVC-18Tのみ)

別売部品をご利用ください (詳しくはカタログをごらんください。)

ベントキャップ
パイプ用フード

直接屋外へ排気する場合
風雨の侵入を防ぐのに使
用します。

ジャバラ

換気扇の排気口とダクト
の位置ずれを調節する
ときなどに使用します。

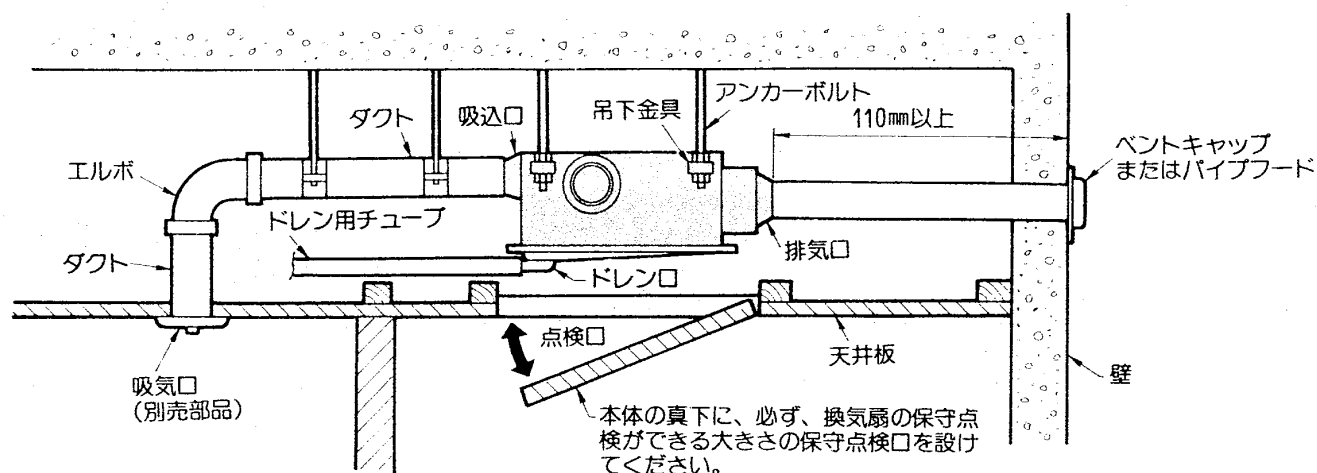
防火ダンパー
電動防火ダンパー

火災が発生したとき排気
口から他への延焼を防止
するために使用します。

吸気口

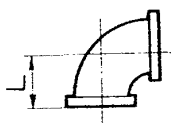
室内側吸込グリルとして
使用します。

取付図



取付パイプ(JISK6741)

- 取り付けは排気口および吸込口の外周にはめ込みテープまたはコーキング材で密封してください。
- エルボは4番パイプ用L-112(JISK 6739DL形)のものをご使用ください。



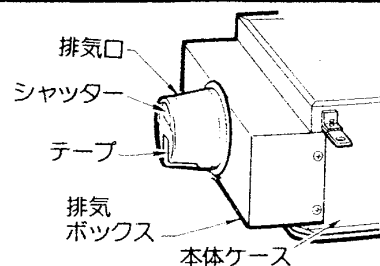
取付パイプ	外 径	内 径
VU-100	φ 114	φ 107
VP-100	φ 114	φ 100
メタルパイプ	—	φ 100

ご注意

- 共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により防火の役割りを果たすものを使用するよう義務づけられています。2 mの鋼板立上がりダクトを取り付けるか別売部品の電動防火ダンパーを取り付けてご使用ください。
- ジャバラ(別売部品)の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。
- やむを得ず、水気のある場所でご使用になる場合は、販売店または電気工事店にご相談ください。据付ける場所によっては、法令により屋内配線に漏電しゃ断器を取り付ける必要があります。

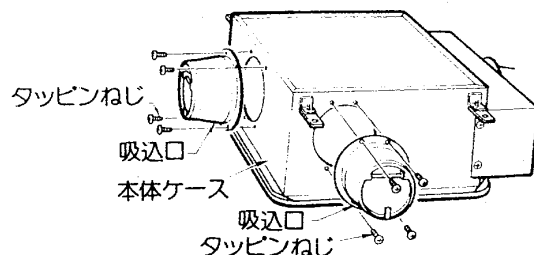
1 排気口のシャッターを止めているテープをはがします。

- このときシャッターを変形させないでください。
- 排気ボックスは工場出荷時に本体ケースに取り付けてあります。



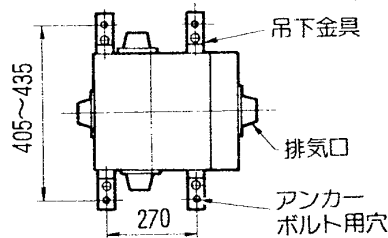
2 吸込口を付属のねじで固定します。

- 吸込口1個につき4本のねじで固定します。
- 必ず付属のタッピンねじを使用してください。
- DVC-18Tには風量調整板を付属しています。トイレ等風量を減らしたい方向の吸込口と本体ケースの間にとも締めしてください(各吸込口よりの風量比は約2:2:1になります。)



3 アンカーボルトを埋め込みます。

- 右図の寸法を参照してアンカーボルト(市販のM10)4本を埋め込みます。

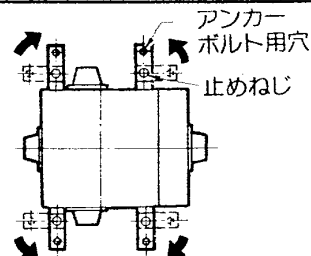


4 吊下金具の位置を調整します。

- 工場出荷時は点線の位置になっていますので、止めねじをゆるめ、アンカーボルト用穴位置が、アンカーボルトのピッチに合うよう調整し、止めねじを固定します。

ご注意

- 止めねじはしっかり固定してください。固定が不十分ですと振動、騒音の原因となります。

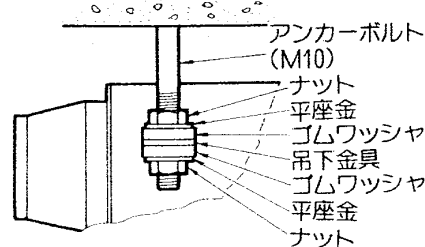


5 本体ケースをアンカーボルトに固定します。

- 付属のゴムクッション、平座金を使用し、吊下金具をアンカーボルトにナットでしっかり固定します。

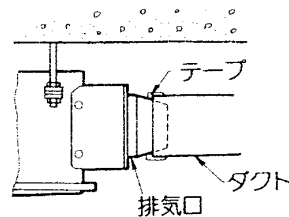
ご注意

- 取付時ドレン口側を必ず下側とし、本体ケースは水平に取り付けてください。排気方向を間違えないよう、排気口の方向に注意し取り付けてください。
- 取付はしっかり固定してください。不十分ですと振動、騒音の原因となります。



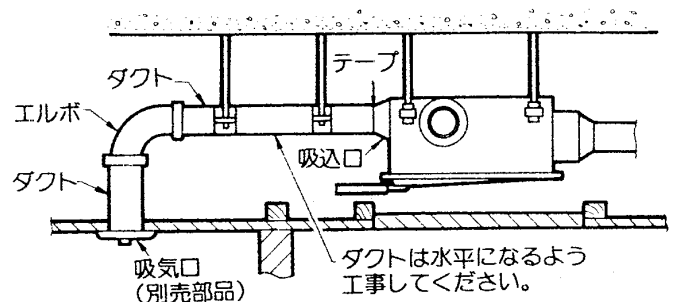
6 排気口にダクト(パイプ)を接続します。

- 接続部はテープまたはコーキング材で密封してください。
- 排気口に接続するダクト(パイプ)は若干屋外側に傾けて取り付けてください。ただし傾けすぎるとシャッターがダクトにあたり、動作不良になることがありますのでご注意ください。



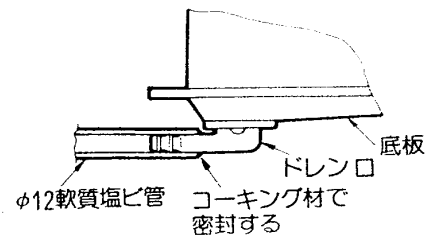
7 3個の吸込口にそれぞれダクト(パイプ)配管します。

- 接続部はテープまたはコーキング材で密封してください。
- エルボの吸気口(別売品)取付部にも必ずパイプを取り付けてください。パイプがないと吸気口が取り付けません。
- 吸込口やエルボにパイプの質量が加わらないように、パイプをアンカーボルトなどで保持してください。
- 室内側には吸気口(別売部品)を取り付けてください。



8 浴室に使用される場合はドレン処理をしてください。

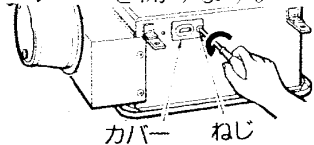
- ドレンキャップを外し、水抜き用チューブをドレン口にさし込み接続部をコーキング材などで密封してください。ドレンキャップが外れにくい場合は、ペンチなどを使用して外してください。
- 水抜き用チューブは内径φ12の軟質塩化ビニル管をお使いください。
- 水抜き用チューブの他端は必ず排水可能なところまで出してください。
- ドレン口の方向は4方向選べます。底板のねじをゆるめ本体ケースへの固定方向をかえてください。



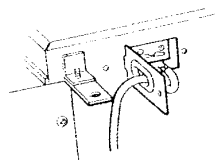
9 電源を接続します。

- 配線工事や電源スイッチの取り付けは必ず電気工事店に依頼してください。

①カバーのねじをゆるめ
カバーを開けます。

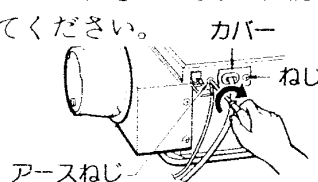


②電源コードはVVFケーブルφ1.6またはφ2.0を準備してください。
電線被ふくは14mmむいてください。

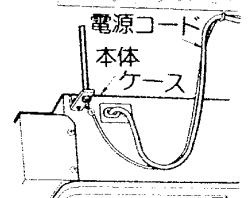


④カバーを閉じてねじを締付けます。

⑤アースを取り付けます。
アース線は断面積1.25平方ミリ以上の電線を使用して、アースねじに確実に接続してください。



⑥電源コードおよびアース線は本体部付近で70cm以上たるませてください。

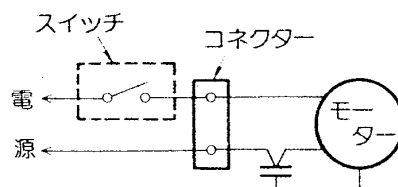


ご注意

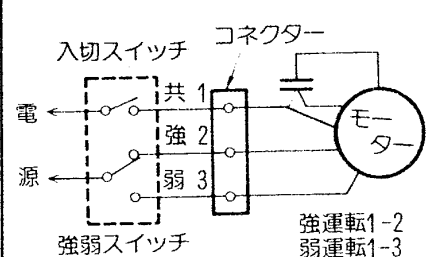
- 配線は右図の配線図に従ってください。
- スイッチは付属していませんので、市販品を準備してください。
- DVC-20Tは強弱切換できますので“入切”用の片切スイッチと“強弱切換”用の3路スイッチからなる連用スイッチを準備してください。

配線図

DVC-18T



DVC-20T

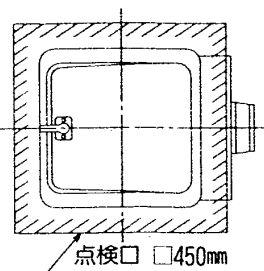


以上で取り付け完了です。次の点検を行ない異常がないか確認してください。

- 換気扇を運転したとき異常音、異常振動がないこと。

取付時のご注意

- 1 浴室に使用される場合は必ずドレン処理をしてください。
- 2 ファン・モータ点検・メンテナンスのため右図に示す寸法以上の点検口を本体の真下に必ず設けてください。
- 3 この換気扇にはスイッチは付属しておりませんので、工事の際準備してください。
- 4 ダクトと排気口および吸込口をテクスねじなどでねじ止めするときは、シャッターにねじが当たらないよう注意してください。
- 5 ダクト配管はできる限り短く、曲がりも少なくしてください。
次のような配管をしますと、所定の換気風量が得られないばかりでなく、騒音が高くなる原因にもなります。



- ①極端な曲げ ②接続ダクト径 ③多数回の曲げ ④排気口すぐ近くでの曲げ

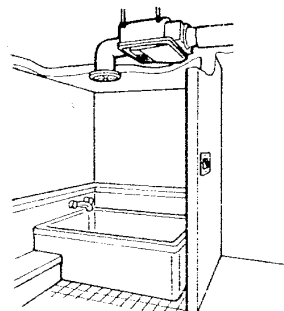
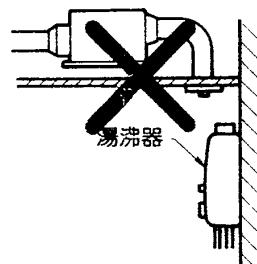
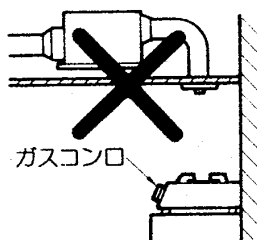
を小さくする
(例φ100→φ75)

シャッターがダクトにあたり開閉に支障をきたします。
やむをえず曲げる場合はストレート部を100mm以上設けてください。



次のことは必ず守ってください

- 1 換気扇付近の温度が40℃以上になるところやガスコンロ、ガス湯沸器の真上では、絶対に使用しないでください。
プラスチック部品が変形したり、モーターの故障による感電、火災の原因となります。
- 2 浴室など湿気の多い場所で使用される場合は必ずアースを取り付けてください。
 - 電気工事店に依頼して必ずアースを取り付けてください。
 - アースは法令により電気工事士によるD種接地工事が必要です。
- 3 浴室など湿気の多いところでは、電源スイッチは必ず浴室外に設けてください。



- 4 内炊釜の浴室で使用される場合は換気扇用空気取入口とは別に必ず燃焼用の空気取入口と煙突を設けてください。
- 5 寒冷地などの気密性の高い部屋で、煙突付ストーブをご使用のときは、必ず空気取入口を設けてください。
空気取入口が無いと煙突より空気が逆流し、危険な燃焼状態になる恐れがあります。
- 6 DVC-20Tの強弱運転の配線は必ず配線図の通りに行なってください。
誤った配線をしますとモーターが焼損する恐れがあります。